

《記述による御意見・御要望》 全体に関わるものを中心に紹介します。

#### <健康・安全面について>

・寒い季節のため長袖の下着やレギンスやタイツを着用させてあげたいのですが、体育がある日は脱がなくちゃいけないとの事で着用できずに困っています。体育着の中に長袖の下着や、レギンス、タイツ等を着るのは、どうしても許可にはなりませんか？検討していただけると有り難いです。

→ 体育時は、見えなければ長袖の下着やレギンス、タイツ等の着用は可能となっております。ただし、その際は、必ず上に長袖・長ズボンの着用をお願いいたします。

長袖や長ズボンの体育着には「けが対策」の役割があるため、学校では、寒いときは長袖や長ズボンの体育着を着用するよう指導しています。レギンスやタイツ等は薄いため、摩擦で切れたり穴があいたりしてしまうことがしばしばあります。安全性の観点から、御理解・御協力をお願いいたします。

・自転車についての講習（ビデオ）などがあると小さい学年から、知識・ルールが身に付いて良いのかなと思います。中学年くらいから遊びに出かけると思いますが、見ていて危ないなと思うことがありました。

→ 毎年、交通安全教室を実施し、交通ルール等についての指導を行っていますが、次年度以降、自転車の安全な乗り方についての指導の充実を検討していきたいと考えております。また、本校では、安全な自転車乗りの範囲を、低学年は家の庭や安全な広場、中学年は学区内の安全な道（国道以外）、高学年は学区内としています。ぜひ御家庭でも、お子様と自転車の安全な乗り方や乗れる範囲等の確認をお願いいたします。

#### <あいさつについて>

・コロナの影響だと思いますが、コロナ渦以前の小川小の子供達と比べ、登下校での町の人への挨拶がほとんどありません。こちらから言ってもとても小さな声です。高学年の子がお手本にならなくてはならないところ、特に高学年ができていません。そのまま中学生になるのが心配になります。

・（上の子が）高校生となり、今まで町外の方から、小川の子達は良いとお褒めの言葉をいただけてきました。そう言われるようになったのも小さな頃から挨拶が身についていたのも一つなのではないかと思います。

→ 昨年度に引き続き、あいさつ指導に力を入れてきました。今年度は中央委員会が中心になってあいさつ運動を進めてきた結果、少しずつあいさつができるようになった児童が増えてきたものの、まだ個人差が大きかったり声の大きさに課題があったりします。3学期もあいさつの場や仕方について継続指導をしていきます。

あいさつの習慣化は人間形成につながります。今後も、進んであいさつができる子どもたちの姿を学校と家庭とで共有しながら、あいさつを推進していきたいと思います。引き続き御家庭でも子どもたちへの声掛けをお願いいたします。

#### <学校行事について>

・授業参観は早めに日程が決まっていますが、マラソン大会などの行事の日程を1ヶ月前には通知を出していただきたいです。

→ マラソン大会当日は、たくさんの応援をいただきありがとうございました。マラソン大会は、年度当初、「マラソン記録会」として体育の授業で実施する予定でしたが、例年通り保護者の皆様に応援してもらおうということで、「大会」として実施するこ

とに変更しました。保護者の皆様への御案内が遅くなり御迷惑をおかけしました。  
早めに休暇申請が必要な勤務先もあるとお聞きしておりますので、今後はできるだけ  
1ヶ月前には通知を出せるようにしていきたいと考えております。

#### <生活指導全般について>

・クラスの中で持ち物を友達にあげたり、貰ったりがあるようです。あげる方も貰う方も保護者の方は知っているのかと心配しています。そういったことは学外で行うようにできないでしょうか。あまり良いこととは思いません。

→ 学校の約束として、学習に必要なでないものは持ってこない、また物の貸し借りややりとりはしないことになっています。各学級で再度確認し、改めて指導をしていきたいと思います。御家庭でも持ち物には記名をするとともに、随時、筆箱やランドセルの中などお子様の持ち物の確認をお願いします。気になることがございましたら、学校までお知らせください。

・時代が変わり先生方も多々苦勞されているかと思いますが、引き続き子供達をよろしくお願いします。  
・いつもこどもたちのため、保護者に対しても寄り添いの心で接して下さること、ありがたく思っております。今後ともよろしく願いいたします。  
・日頃から丁寧にご指導いただきありがとうございます。子どもが学校が楽しいと言っていて嬉しいです。

→ ありがとうございます。今後も安心して通える学校・学級づくり、子どもたちや保護者の皆様に寄り添った対応に努めてまいります。

#### <タブレット等の持ち帰りについて>

・徒歩通学にはタブレットの持ち帰りは重すぎます。学年によって持ち帰る、持ち帰らないがあるのは、どうしてでしょうか。  
・連絡帳のみの活用でしたら、現在のタブレットは重く、毎日の持ち帰りは歩きの児童には負担が大きいのではないかと思います。

→ 現在、2年生以上でタブレットの持ち帰りを行っています。連絡帳として活用することで、ICTの能力の向上を図ったり、時間をやり繰りして基礎学力の向上に努めたりしています。また、タブレットを持ち帰った日は、タブレットを使った宿題を出したり、自主学習としてAIドリルや調べ学習等で活用したりするよう指導しています。保護者の皆様にも御理解いただき、御協力をお願いいたします。

タブレットを含め、登下校時の児童の持ち物については、検討していかなければならないと考えているところです。特に月曜日や金曜日は荷物が多くなってしまいます。そこで、学校だよりやメールでお知らせしましたように、持ち帰りの荷物を減らす試みとして、体育のある日は運動着を着用して登校してもよいこととしました。（強制ではありません。）寒い場合は、運動着の上に防寒着等を着て登校させてください。

今後もタブレットを含めた荷物の持ち帰りについて、適宜職員間で話し合っていきたいと思います。